

別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

平成27年5月19日

会議の名称	第3回志木市男女共同参画基本計画策定委員会
開催日時	平成27年5月19日（火） 午後1時30分～午後3時00分まで
開催場所	市役所 4階 全員協議会室
出席者職氏名	《委員長》青木室長（人権推進室） 《副委員長》塩盛主幹（福祉課） 石塚主幹（秘書広報課）、大塚主幹（人事課） 眞島主幹（事務管理課）、佐野主幹（財政課） 志藤主幹（市民活動推進課） 篠崎主幹（生活安全課） 須田専任主幹（環境推進課） 古屋主幹（産業観光課） 安井主幹（子育て支援課）、渋谷主幹（健康づくり支援課） 加藤主幹（都市計画課）、菊池指導主事（代理）（学校教育課）、 (計14人)
欠席者職氏名	細谷主幹（総合窓口課）、阿部副課長（高齢者ふれあい課） 桶田副課長（生涯学習課） (計 3人)
説明員職氏名	人権推進室田中主査 (計 1人)
議 題	・第5次志木市男女共同参画基本計画各課題の指標一覧について ・第5次志木市男女共同参画基本計画素案について
結 果	本日の意見をもとに、第5次志木市男女共同参画基本計画各課題の指標一覧・素案について整理し、志木市男女共同参画庁内推進会議のメンバーに検討しとりまとめる。
事務局職員職氏名	山本主幹、根岸主任
その他必要事項	

会議内容の記録（経過、結果等）

<説明員>

第5次志木市男女共同参画基本計画を策定するにあたり、第5次志木市男女共同参画基本計画各課題の指標と基本計画素案について主旨を説明後、本計画の指標の具体的な目標値及び計画の素案について審議を行った。

<質疑応答>

委員) 第5次志木市男女共同参画基本計画各課題の指標一覧について、第4次から引き継いだ指標と新規の指標の概略を説明して欲しい。

委員長) 基本的には大きな変更はないものの、時代背景にあわせ変更。

説明員) 子育て支援事業への男性の参画、民生委員・児童委員の男女の割合、市民力人材バンク登録数など新たに加えた。

委員) No.6 パートナーから暴力をうけて相談をした人の割合の目標年度が素案とあっていないので修正した方がよいのではないかと。

説明員) 平成31年度に統一します。

委員) No.1 固定的役割分担に同感しない人の割合が高齢者には浸透してきているが、若年層は逆戻りしているという傾向があり、若年層の意識啓発が必要かと思われる。そういった意味で具体的取組事項に盛り込んでどうか。

委員長) 主な取り組み内容を修正し若年層の意識啓発に努めるよう修正します。

委員) No.6 パートナーから暴力を受けたあと相談をした人の割合の目標値が高すぎないか？

委員長) 数字の捉え方として、現状として達成可能な数字を目標とするのか、それとも高い目標設定をするのかによる。今回は第4次から引き継いだ数字を使用した。

委員) 基本目標Ⅰの課題2指標「元気な高齢者の人数」は、高齢化率が高まる中で、範囲がどんどん広がってしまうのではないかと。

また、男女共同参画という大元の考え方、あるいは基本目標Ⅰの「男女のあらゆる人権が尊重されるまち」に対して「元気な高齢者の人数」の関係性が不明。外した方がよいのではないだろうか。

説明員) 担当課と調整したうえで検討する。

委員) 外した場合何を代わりとするか。

説明員) 基本目標Ⅰに見合った指標とする。たとえば、いろは健康21プランの目標や母親学級の父親の参加率を指標などにする。

委員) 基本目標Ⅲの課題1の④「男性職員の育児・介護休業制度などの積極的な利用促進への取組」の男性職員という言葉は、なぜ職員という言葉を使っているのか。

委員長) 志木市全体の男性としてしまうと指標がとりづらいため、まずは市役所男性とすれば定点観測しやすくなる。

委員) そもそも課題1「③男女の育児・介護休業取得促進への取組」と「④男性職員の育児・介護休業制度などの積極的な活用促進への取組」は同じ内容なのに、あえてわかる必要はあるのか。

委員長) 課題1③と④については、1つにまとめるよう調整する。

委員) 課題2の指標ファミリーサポート、保育スタッフ事業利用児童数は、前回の会議で外すこととなっている。

説明員) 外すことにはなっていたが、国の指標にある項目なので確認して調整する。

委員) 基本目標Ⅳの課題1の指標「職員の昇進選考試験の受験比率」ここでの職員という考え方は適切なのか。基本目標Ⅳの指標に入れるべきか。

委員長) 意見を参考に調整・検討する。

委員) 課題1の「④市と市民・事業者等との連携による取組」の説明(30ページ)で、市民活動への助言等と書かれているが「助言」という言葉に抵抗がある。情報提供とかサポートとかそういった言葉にしてほしい。

委員長) 「情報提供」に変えるようにする。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。